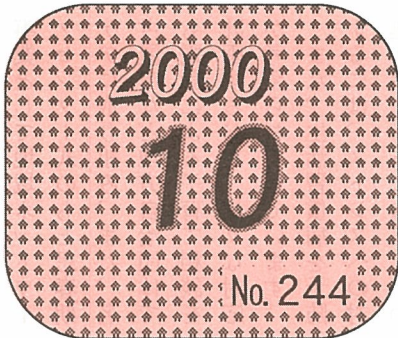




あいち学友会 子流協ニュース



▲街を往く山車（名古屋市東区にて）



主な内容

- (1面) 街を往く山車（名古屋市東区にて）
- (2～3面) カウンセリング・フットセラピー事業をはじめた「生涯学習名古屋メンタルケア」
- (4～8面) 中日本連合会夏期研修会講演要旨「みんなで仲よう使やええがや…なごや・パチンコ・もうやい精神」株式会社エミック・イー代表取締役社長 鈴木笑子

風味豊かに、新鮮度100%

フレッシュ

本生しょうが

姉妹品 フレッシュみじん切り

無塩

NET.950g



テオー食品株式会社

名古屋営業所
TEL052-522-3351
FAX03-3950-8693



現代社会において溜るストレス

求められる心と体の健康

キーワードは『癒し』

現在、混迷する社会状況のなか、核家族化、少子化の進行により閉ざされた家庭環境やコミュニケーション不足から、不安や悩みを抱え、ストレスを感じず人々が多くなっています。特に「十七歳の犯罪」が社会問題化するなど、自分の感情を抑えきれずに暴走する中高生たち……いわゆる「キレる」子供たちが増えています。また、職場においても、リストラ、上司・部下あるいは同僚間の対人関係など、いろいろ問題が発生して、社会人も様々なストレスにさらされています。

現代社会では、ストレスによって精神的にも肉体的にも、緊張と疲労がたまりがちです。ストレスによって起こるのは神経症（精神症状）とか心身症（体の変調）——これら精神的、肉体的な症状を治癒するため心と身体の「健康」が求められており、そのキーワードは『癒（い）や』し』とも言われます。

精神的ストレスの要因は、環境が性格決定に影響をあたえるとともに、感情をセルフ・コントロールできないことから、心をいやす『手だて』として「自分」を見つめる時間が必要だとも言われています。感情をいやすしてくれるのは、心の中にいるもうひとりの自分だといわれます。対話のスキルを備えた者と安心した空間の中で話し合うことにより、ありのままの自分を受

け入れられることが出来ます。対人関係、コミュニケーション能力を充分に育てることが必要視されています。

心と身体の健康を支えて

カウンセセリング事業をはじめた

「生涯学習名古屋メンタルケア」

こうして心と身体の「健康」が求められるなか、このほど「生涯学習名古屋メンタルケア」が、心と身体の健康を支え、生きる気力

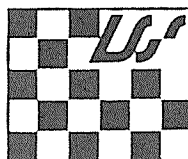
事業として地域ネットワークセンター式のもと思春期ケアに取り組み、また、名古屋市など地方自治団体でも電話による子育て相談を計画するなど、様々な対応が考えられてきています。また、生活習慣病を予防するには、ストレスへの対処がポイントになるといわれます。肉体的な疲労は休養をとれば回復しますが、心と身体にはリラクゼーション効果の高いリフレクソロジーが大きな役割を果たすといわれています。

与える機関として、カウンセセリング事業およびカウンセラピー事業の活動を始めました。

これは、食品検査全般お

豊かな食生活は美味しさから…

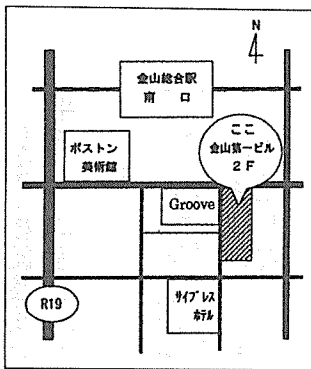
ユニチカ三幸の冷凍食品



UNITIKASANKO

ユニチカ三幸株式会社

名古屋支店／〒456-0002 名古屋市熱田区金山1丁目5番3号 ☎(052)682-8301(代)



＝ 事業場所 ＝

- カウンセラー養成講座
中小企業センター
- カウンセラー/フットセラピー
名古屋市熱田区金山町1-4-1
金山第一ビル2F (金山総合駅南口
から南へ徒歩1分)

☎ 052-678-1288

FAX 052-678-1288

*営業時間

午前10時～午後8時 日・祝休

よび健康について総合的に管理できるシステムとして対応するため、平成九年四月に設立された「東海検査医療管理センター」の活動の一環としての業務を補完するものです。

その事業内容は下欄のようになっています。

◆カウンセリング事業

財団法人生涯学習開発財団LSI会員として、活動内容は、カウンセラー養成講座、個人カウンセリング、企業カウンセリングを三本柱としています。

【カウンセラー養成講座】

より良い自己実現づくりをサポートし、また多方面で活動できるカウンセラーを育てることをめざして、短期間で実践的なカウンセリング技術を習得し、自己啓発としてより良い自己実現の形成がめざされます。

講座内容は、基礎講座、応用実践講座、認定講座、およびアドバンス講座(傾聴トレーニング、職域ガイダンス、グループスーパービジョンなど)で、中小企業センターで開催。

受講コースは、短期集中、夜間、土曜の三コースがあり、基礎、応用実践、認定の全講座は二十一回(二時間)の応用実践講座修了段階で修了証が発行され、認定講座を受けて認定試験に合格すれば認定証を取得、認定者として登録されてプロカウンセラーとして幅広く活躍の場が期待されます。また、就職、独立、講師など職域ガイダンスを行い、カウンセラーとしての活動が全面バック

アップされます。

講座は、すでに十月から第一期が開講されており、現在、来月一月からの第二期受講生を募集受付中です。

また、単発講座として、心理学講座「もっと自分らしくコミュニケーション」も随時開講されています。この講座は、他人とのコミュニケーション、自分とのコミュニケーションなど、コミュニケーションとは一体何なのかを知るためのもので、簡単な心理テストによって、自分とのコミュニケーションを通じて、心の健全さや良好な意思の疎通、そして自分らしい新しい気づきを発見するものです。受講時間は二時間で会費は二、〇〇〇円。

【個人カウンセリング】

カウンセラーが面談、一対一で話を聴き、問題解消にサポートするものです。

カウンセリングは来談のほか出張も行われ、対人関係トレーニングや子育て相談、メンタルトレーニング、インナーチャイルドワーク、エンカウンターグループ、各種リラクゼーションに当たります。

【企業カウンセリング】

企業にとって「人は財産」といわれなか、能力開発、コンサルテーションなどカウンセリン

グ概念を通じ、人材の発展的育成や問題解決に当たります。

内容は、企業研修、キャリアカウンセリング、スタッフカウンセリングなど。

◆フットセラピー事業 (リフレクソロジーセラ)

日本リフレクソロジー協会認定の英国式足裏健康法リフレクソロジーで、話題のリフレクソロジーにハンドケアを加え手のひらをくまなく刺激し、内臓を刺激して体内老廃物の排出を促進します。

三大効果として、

1. 自然治癒力を高める。
2. むくみ、ストレス解消、体内老廃物の排出促進。
3. 血液の流れをよくする。

があげられます。

メニューは次のとおり。

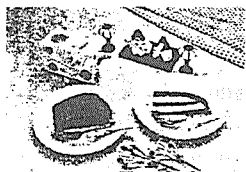
- ・ハンドリフレクソロジー(十五分) 一、〇〇〇円
- ・プチリフレ(二十五分) 二、五〇〇円
- ・オイルリフレ(二十五分) 三、〇〇〇円
- ・フルリフレ(五十分) 五、〇〇〇円
- ・プチリフレ+オイルリフレ(五十分) 五、五〇〇円

楽しいイベントを演出するデザートケーキ!!

使いやすく便利なフローズンデザート

解凍するだけで、そのまま使える便利なデザート用食材です。

MEIJI
明治乳業



明治乳業株式会社
東海支社

名古屋市瑞穂区内方町2-25 〒467-0068
TEL (052) 851-3525
FAX (052) 851-3505

中日本学校給食物資流通組合連合会
平成十二年度夏期研修会 講演要旨

「みんなで仲よう使やええがや」 なごや・パチンコ・もうやい精神

株式会社エミツク・イー代表取締役社長

鈴木笑子

中日本学校給食物資流通組合連合会では、平成十二年八月四日（金）、熱田神宮会館において「平成十二年度夏期研修会」を開催しました。

前号に続き、株式会社エミツク・イー代表取締役社長、鈴木笑子氏の講演「みんなで仲よう使やええがや・なごや・パチンコ・もうやい精神」の要旨を掲載いたします。

◆子供から見たパチンコ王
「誰に食べさせてもらっていると思ってるんだ。お客

さんだぞ。従業員だぞ。使

っと思うな。使われろと思え。心から感謝して、汗水垂らして一生懸命働かなあかん」……現代パチンコの生みの親と言われる正村竹一がお子さんたちに、ずっと小さい時から言われ続けてきた言葉だそうです。正村は、子供たちにとっ

ては非常にこわい父親でした。子供たちが小学校時代から、学校から帰宅するなり、パチンコの玉洗い、玉磨き、パチンコの裏側―シマでの玉の補給、レコード盤かけ、

水まき、掃除……と、毎日

店の営業を手伝わせました。他店での客の入り具合、そして店の表に駐輪された自転車からそのお客の住所エリア、そして出玉率などの偵察――すなわち市場調査もさせました。お子さんたちが、毎日の事だから、たまに実際に行かず架空の報告をすると、正村はそれをすぐ見破りました。実は、

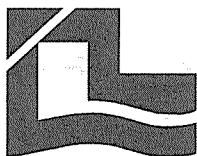
正村は、子供たちが市場調査に出かける前に既に調査をすませているわけです。正村の場合は、いちいち店内まで入らなくても、自転

車で外を回っただけで、大体、その店にどれくらい客が入っていて、出玉率がどれくらいかということがもう分かりました。そうして自分が調べた後に子供が行くわけです。子供が違った数字を出したり、いい加減な報告をすると、すぐ虚実を見破り、その怠惰を叱責したということです。

◆パチンコの歴史

パチンコは八十年の歴史を持っています。その最初は、大正九〇十一年頃、外国のマシン（この機械はコリン・ゲームだと言われ、これを日本人が日本用に改造をしたというふうに言われています）が五台、日本に上陸し、この機械を香具師（やし）あるいは露天商たちが使いました。この人たちは、機械をリヤカーに積んで、夜店、露店で子供相手に営みました。

しかし、もう一方で大正十二年に阪急の小林一三



地球のごちそう、お届けします。

株式会社ノースイ

本社 〒553-0004 大阪市福島区玉川3丁目2番1号 ☎06 (445)6301
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目11番31号(錦・Gビル3F) ☎052 (222) 1023
大阪支店 東京支店 札幌営業所 仙台営業所 福岡営業所



講演する鈴木笑子氏

んがつくった日本で初めての一大レジャーランド・宝塚新温泉（現宝塚ファミリールランド）にヨーロッパから上陸したマシンが何台か設置され、それを遠藤嘉一という人が模造し、デパートの屋上に設置しました。デパートの屋上は大体子供が遊ぶ遊園地のようなところで、この機械は子供に遊んでもらうため、お菓子が出るような機械でした。要するにパチンコのルーツを探ると二つの流れがあったこととなります。

この頃の名称は、まだパチンコではなく、遊ぶ時に出る音にちなんで、関東では「ガチャンコ」、関西では「パチパチ」といわれました。従って、パチンコという名称は、この「ガチャンコ」と「パチパチ」が一つになったという説があります。もう一つ、香具師・露天商たちがリヤカーを引いて営んだ流れは、大阪から裏日本を経由して東北地方にまで流行しましたが、東北地方では何かを愛称で言う時、「雪んこ」とか「娘っ

こ」など「何々っこ」と言うことから、「パチパチ」に「こ」が付いて「パチンコ」になったという説もあります。ともあれ、昭和五十七年頃には「パチンコ」と言われるようになるのですが、この当時は、一銭銅貨を入れて、出てきた一個の打ち玉が入賞口に入ると一銭銅貨が出てくる。要するに、お金を入れて玉を打ってお金が出てくる式でした。しかし、一銭銅貨には菊の紋章がデザインされており、そうしたものを遊技具に使うとはけしからぬということで、これが、当局から中止を命ぜられました。そこで、一銭銅貨と同じサイズのメダルを入れると打ち玉が出てきてメダルが出てくる。そのメダルの枚数によって景品と交換するという式となりました。これが、「メダル・パチンコ」といわれたものです。

このメダル・パチンコも、禁止になりそうになりますが、ここに画期的な機械が登場してきました。いまのパチンコと同じで、玉を入れると打ち玉が出てきて、その打ち玉が入賞口に入ると玉が出てくる。要するにすべて玉の「硬球式パチンコ」で、これを昭和十一年に、名古屋の藤井正一という人が作りしました。これは、現在あるパチンコのルーツになる、非常に画期的なもので、そのパチンコの名前を「スチール野球ボール」と呼びました。こうして、この機械が全国に広まって行くことが期待された矢先、昭和十二年に日中戦争が勃発し、戦時体制に入りました。このため、戦時下ということで、規制が入り、スチール野球ボール機は名古屋ではやった段階で終わり、全国には広まりませんでした。そして、昭和十六年、東

無添加福神漬
(JAS規格)

無添加つぼ漬

アサダ

無添加一食用漬物

10g×40袋入り

無添加刻たくわん

無添加風流かつぱ

株式会社 アサダ

本社／名古屋市中村区稲西町181
営業所／東京・大阪・福岡
工場／東海市加木屋町山の脇48

条英機内閣となると規制はさらに厳しくなり、遊興は全面禁止され、パチンコもまた、製造・営業がすべて禁止になり、それからの数年間、パチンコは日本中から全く姿を消しました。

こうして、戦前のパチンコは、リヤカーを引いて移動したり、駄菓子屋さんの店先に置いたりされて、子供の遊びの域を出ないままに終わってしまいました。

しかし、戦後、パチンコは不死身のように復活しました。それは、昭和二十一年五月、名古屋市西区で、「浄心遊技場」の屋号のもと、パチンコ台数十八台、家族数七人で、パチンコ店の営業が始められました。おそらく、これが戦後初めて全国で開業したパチンコ店だと思いますが、これを開業させたのが、正村竹一という人です。

◆正村竹一の生涯と人間像

正村竹一は、明治三十九

年に、岐阜県稲葉郡茜部村（現岐阜市）で、正村鐵次郎（こうとう）という夫婦の間の九人きょうだいの三男として生まれました。

しかし、村は荒田川と境川に挟まれた低湿地帯で、すぐ洪水に見舞われるため、田畑は非常に荒れた地質で、雑米を納めますと、残った米はあとわずか。とても親子十一人が自給していく余裕はありません。

そこで、竹一は十歳の時、口べらしのため貰い子に出されます。しかし、家が恋しいあまり、すぐ帰ってきてしまい、改めて貰い子に出されますが、その先が枇杷島にある指物職人の家でした。

彼は、そこで、子守、掃除、店番など家事を手伝いましたが、手先が大変器用だった彼は、指物職人のやっていることを見よう見真似に覚えて、指物の仕事をいろいろ手伝ったりするよ

うになりました。これは、食いぶち助けに食べさせてもらいながら、指物技術を一生懸命覚えて、将来に役立つようになった点で、彼にとってはとてもラッキーなことだったと思います。

やがて自分で働いて稼げる年代——十四歳になると、家へ帰り、家計の助けにあたりとあらゆる仕事につきます。土方、馬引き、木曽川の土の運びなど、いろいろなことをやりましたが、そのうちで、指物職人の技術と同様、大変役立った職がありました。それは大工でした。大工仕事について、いろいろな事を見聞きしながらそこで覚えたことは、「道具は命より大事なものの、大切に扱え」とか「水平・垂直が肝心」とか、いろいろありますが、中でも「釘は斜めに打つべし。硬いところに打つべし」という一番の基本を教わりました。こうして正村は、指物職

人の技術と大工の釘打ちの技術を、十七歳までに修得をしたわけです。

正村は、その後、笠松にある高木酒問屋に丁稚奉公に入ります。ここで彼は生涯の師と仰ぐ人物と出会います。それは、酒問屋の主人、高木重太郎でした。

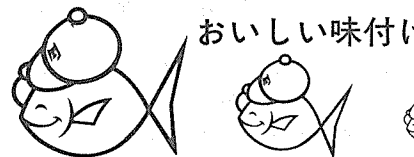
高木は、従業員の使用にも先進的な考えを持った優れた経営者で、正村にとっては、その出会いは多分カルチャーショックを起こすものでもあったかと思えます。彼は、高木を一生の師と認めて奉公しますが、そうしたなか、それまで手洗いで過重な労働であった瓶洗い作業を効率化するため、瓶に噴水を当てて中が洗える自動瓶洗い機などを考案したりして、高木も正村の才能を認めることになりました。

正村は、昭和二年、二十一歳の時にこの酒問屋を退職して、名古屋市浄心でガ

大島のデザート食品

プリンゼリー

おいしい味付け小魚



ミル×7

フィッシュ

大島食品工業株式会社

電話 <052> 795-0091

ラス商を始めました。その独立に際して、高木が言った事は、「物を大切にしない」「辛抱しなさい」「最後までやり通しなさい」でした。当たり前のことですが、やはりこの当たり前を続けることぐら大変なことではないと思います。しかし、正村は、高木を生涯の師とただけあって、この三点を守り通したということです。

彼は、独立にあたって、自分は尋常小学校も途中でやめてしまった、要するに無学・無芸の身。その自分があることは、人の倍、働いてやっと当たり前。少しでも人の上に行こうと思っただけ、三倍は働かないことにはいけないということ、睡眠時間もわずか三時間程度。とにかく注文取りや納品、割れガラスの修理などで、働き通しました。そのお陰で、次第に貯蓄も出来、その金で借家を建て、また、ガ

ラス屋とともにキャンデー屋も営みました。もう一つ、昭和十一年にパチンコ（ス皮ード野球ボール）も始めましたが、その時は、キャンデー屋の店先に置いた程度に留まっています。こうしているうち、昭和十六年、遊興が全面禁止になってパチンコはやめ、また企業整備でガラス屋も出来なくなり、昭和十八年には、徴用で愛知航空機に行くようになり、昼は工場勤め、夜は内職として扇骨（せんこつ）づくりをやりました。そして昭和二十年六月九日には空襲に遭い、九死に一生を得る体験もします。こうして辛うじて命を取り留めた彼は、終戦を迎えた時、国の行く末、自分のなりわいなどを熟慮し、娯楽こそが戦い敗れ疲れた人々の心を慰め、憂さを晴らすものと考え、戦前に営んで自宅に残っていたパチンコで、店を開くこと

にしたのでした。これに大人も子供も群がりました。もう本当に大変なブームでした。しかし、やがて正村は思いました。「今のままの台で行ったら、きっとそのうちにおもしろみが半減してしまう。もっとおもしろい機械をつくらなければ……」と。そして様々考えた結果、盤面に四百二十本の釘が均等に打たれているのを三百二十本ほどにし、釘の配列も、天に四本の釘を打ち、入賞口の上に八の字形に打つ配列にしました。また、玉が当たるとくるくる回る風車を付けて、玉の動きに意外性をもたせようとし、これまでにない画期的なパチンコを考案しました。正村は、昭和二十五年にこの正村式ゲージを完成しました。これが大人気を呼び、正村自身、七つの製造工場を持ち、月産二万台、年間お

よそ二十五万台もの生産を誇るようになりました。

この人気に目をつけて、正村ゲージを模倣したパチンコも出回るようになりました。しかし、正村の作ったパチンコ台は一台七千円。他のメーカーが同じようなものを作って三千五百円で売り出しても、人気が違いました。パチンコを知り尽くした正村の考案したものには、おもしろさが及ばなかったのです。単に同じように釘を打つだけではだめなのです。パチンコ台はわずかな傾斜をつけて斜めに設置し、そのわずかな傾斜を計算に入れて、釘を斜めに打ってありました。

ここに、彼がかつて大工時代に学んだ教え「釘は斜めに打て」「かたい所に打て」が生かされていたのです。

◆利益を共有◆

正村ゲージ式パチンコがいよいよ出回ってきた時、

カゴメ株式会社

使い勝手さの良さ、ご使用後のことを考えて、フィルムパック製品をさらに豊富に充実させました。








正村は特許を取ることを勧められました。しかし、特許を取りませんでした。巷間、「正村は特許の意味を知らなかったのだ」という説もありますが、それは違います。正村は、その時、「パチンコはたくさん出回って、一人でも多くのお客さんに喜んで遊んでもらうのがえ

え」と答えています。「みんなでも仲よう使やええがや」と。そこには、「もうやいやい」とは名古屋弁で「持ち合い」のことで、利益を分け合い助け合うことです。正村は、自らの考案を惜しげもなくみんなのために提供したのでした。



昭和二十九年、業界から功績をたたえ感謝をこめて寄贈された正村竹一像（「パチンコミュージアム」中庭に建立）

正村は、またこんなことも口ぐせで言いました。「『二五八』の余裕」。普通は「二×五〇」ですが、それを「二×五〇八」として人生に余裕・遊びを持てというのでした。ただし、働きの正村らしく、仕事に関しては「二×五〇一〇」ではなく、一四、一五にも働いて、ようやく二×五〇八になるのだ」と言っただけのことです。ここに、小学校にもろ

くろく通えず無学だった正村が人生の師匠とした酒問屋の主人、高木重太郎の教えが生きていたのです。

正村は、昭和五十九年十月、六十九歳で他界しました。「いいか。パチンコの原点を忘れたらあかんぞ」と言い残して……。

いまパチンコ産業は二十一兆円産業といわれるまでに発展しました。それ多くの技術者たちの支えがあったのですが、子供の遊具の域を出なかったパチンコを、戦後、社会の一大娯楽に育てた、初めて井戸を掘った人の存在を忘れるわけにはいきません。

二十世紀は少し走りすぎました。二十一世紀はその調整の時期です。その新世紀、パチンコの歴史も百年を数え、一つの立派な文化ともなります。

いま一大産業となったパチンコの埋もれた歴史を発掘し、後世に遺すため、名

古屋・浄心に正村竹一資料館として「パチンコミュージアム」（名古屋市中区城西四一九一六、正村ビル、地下鉄浄心駅から南へ徒歩数分）が設けられており、いつ、どこから、どうしてパチンコはパチンコになったのかの解明、そしてパチンコ王・正村竹一の遺品などが展示されており、発祥の地らしく全国で唯一のユニークな存在として注目を集めています。（おわり）

あいち学流協ニュース

2000年 10月号 No.244

平成12年10月15日発行 単価50円

編集発行人 愛知県学校給食物資

流通協同組合

理事長 伊藤 稔

名古屋市熱田区新尾頭2丁目2番7号

富春ビル4F 〒456-0018



安全な学校給食品を提供する 名給の愛知県内のサービス網

◆名古屋量販部 TEL<052>671-6256(代)
◆春日井量販部 TEL<0568>33-1330(代)
◆豊橋量販部 TEL<0532>54-3611(代)
◆豊田量販部 TEL<0565>31-1666(代)
◆一宮量販部 TEL<0586>75-1962(代)

名古屋市熱田区新尾頭2-2-61
春日井市大和通1-65-3
豊橋市大村町字花次113
豊田市小坂本町1-49-4
一宮市せんい2-5-17